



Executive talks 「会社と地域と自分を語る」④ 岡野不動産鑑定事務所

代表 岡野五郎 (おかのごろう)

会社データ

所在地 〒420-0033
静岡県静岡市葵区昭和町3-1
静岡昭和町ビル502
TEL 054-205-7666
FAX 054-205-7667
ホームページ <http://www.okanokantei.com/>
代表者 代表 岡野 五郎



身につけた力を静岡に還元

県の調査によると、県内高校出身者のUターン就職率は、1995年に63.9%となっていたが、2002年には50.8%に低下した。さらに2013年の民間の委託調査では45.5%にまで下降している。
こうした状況の中、地元静岡県への強い想いを、持つて二度目のUターン就職をした人物がいる。不動産鑑定士として活躍していた東京の事務所から二年前に独立し、静岡市の繁華街に自身の事務所を開所した岡野五郎氏である。



修業年数より経験値が強み

東京の大学に進学した岡野氏も、卒業後すぐに静岡に帰ったわけではない。まずは東京で大手総合商社に入社し、「仕入れて売る」ノウハウを徹底的に学んだ。その後静岡に帰り、実家のスーパーで役員として腕を振るうも時代の流れには逆らえず、大手に買収されることになる。
岡野氏は「これから何をしようか。何ができるのか。自分と真剣に向き合いました」と当時を振り返る。その結果導き出した答えが、難関と言われる不動産鑑定士を目指すことだった。

岡野氏は野球ボクシングに打ち込んできた体育会系の人物である。スポーツを通して学んだことは多いという。「中でも一番身に染みているのは、日々の努力の積み重ねでしか勝つことはできないということです。本番の試合だけラッキーで勝つことはほとんどない。勝利の裏には常に、つらいトレーニング、並々な努力の裏付けがあるんです」。

岡野氏はスポーツで培ってきた信念のもと日々努力を重ね、合格率2〜3%の不動産鑑定士試験に合格。再び東京に活躍の場を求める。その理由を「早く自分を成長させるため

には、厳しい環境に身を置き、様々な経験をすることが一番。そうした機会に多く出会えるのがやはり東京だと考えました」と語る。

東京では、想像していた以上に様々な案件に関わることになる。個人の土地や家屋、公共関連の土地評価から数百億円規模の収益物件の鑑定評価まで、幅広く密度の濃い経験を毎日繰り返した。特に外資系企業との仕事では、彼らの求める基準をクリアするために苦勞したという。

「扱う金額が大きい分、彼らは評価書の細かな項目ひとつひとつに、明確な根拠と分かりやすい説明を求めています。始めの内は試行錯誤を繰り返しましたが、今では彼らの求める基準が自分の仕事の基準になっています。この姿勢は大企業に対しても、個人のお客様に対しても変わりません」と自信に満ちた顔で教えてくれた。

静岡県をもっと魅力的な街に

多くの経験をし、高いレベルのスキルを身に付けた岡野氏は、その力を静岡のために役立てたいと思うようになる。そこには静岡を愛する気持ちと、少しの歯痒さがあった。

その熱い想いを岡野氏はこう語ってくれた。「人口が減っているとはいえ、他県に比べればまだまだ人は多い。各種産業や観光資源にも恵まれている静岡のポテンシャルは高いです。そうした資源を不動産鑑定やコンサルティングという切り口から活かしていきたい。誰もが静岡県に住みたい、帰りたいと思えるように、会員の皆さんと力を合わせて盛り上げていきたい」のだと。

静岡の街に頼もしい若手が帰ってきくくれた。



仕事には真摯に取り組む一方で、プライベートでは自らを「好奇心旺盛な40歳児」だと評する。今でもスポーツはするのも観るのも大好き。協会のゴルフコンペで活躍する日を夢見てトレーニングに励む。お酒に関しては、大学と商社勤務で鍛えられたと笑う。硬軟合わせ持つ人柄は、不動産鑑定士としてのスキルと同様に大きな魅力となっている。

